

マリリン・ボイヤー抄録

基調講演①「我が家のホームスクーリング物語」

ボイヤー家について知っておられる方もいるかもしれませんが。夫リックがコンベンションで語るのを聞いたことがあるかもしれませんが、「14人の子どもたち全員をホームスクーリングで育てているあの家族」として知っておられるかもしれません。しかし、我が家がホームスクーリングを始めた背後の物語について知る人はほとんどいないと思います。結果的にはホームスクーリングを始めたおかげで皆さんと出会う機会が与えられたのですが。

最近のアメリカでは、ホームスクーリングを選択することは珍しいことではありません。多くの人が喜んでしています。しかし、1980年代初期にそれを選択するということは、確かに珍しいことでした。では、なぜ私たちはホームスクーリングをしたのでしょうか？ いったい何が、37年に及ぶこのクレイジーなホームスクーリングの旅を始めさせたのでしょうか？ なぜ、子育て本を書いたり、子どもたちのための人格形成のカリキュラムを作ったりしたのでしょうか？ それでは、物語を始めましょう。

基調講演②「子どもたちと楽しむ－子どもたちの心を保ち続けるカギ」

私たちは時々、述語名詞とか、割り算のやり方を教えるといった勉学のことを重視したいという衝動にかられることがあります。そして、ただ子どもたちと一緒にいる時間を楽しむということを忘れてしまいます。この基調講演では、これこそが実は子どもたちの心に残る価値観を教え込み、神に関する事柄を心に築き上げていくカギであることに、マリリン自身がどのように気付いたかを分かち合います。どのように、子どもたちの心に届き、その心を掴むことができるか、また、どうやって次世代に続く満ち足りた家族関係を築き上げることができるのかを分かち合います。

分科会

●「我が家の子どもたちは画一化教育が嫌い：情熱指向学習で子どもたちを自由にする」

聖書は、子ども（若者）を「その（子どもの）」行く道にふさわしく教育せよと命じており、子どもたち（若者たち）の行く道にふさわしくとは言っていません。子どもたちは一人ひとりが神によって違って造られた者であり、それぞれの使命があり、そのための違った才能や興味や、さらに弱さもが、魅力的に混合した存在なのです。その子

どもたちの人生の召しを成就する助け手として、私たち親は、一人ひとりを訓練するためにふさわしい、オーダーメイドのプランを作り上げていく必要があります。この分科会で、あなたの子どもの特徴、ほかの子どもたちと違う点を取り扱う方法を学んでください。子どもが情熱を注げることを追求させ、神がその子どもを造られた通りの人になれるように、「束縛となる期待」から彼らを解放してあげてください。

●「子どもが与えられた？」

では人格教育を始めよう！」

教育の最も大切な分野は、価値ある人格教育です。そうでなければ、私たちは単により能力を向上させるだけの訓練をしていることとなります。私たちは時折、めそめそしたり、言い争ったり、逆らったり、悪口を言うといった厄介な特質が、態度の問題というよりはむしろ、人格欠如の問題であるということに気づかずにいます。(良い)人格は成功した人生への扉を開くカギです。賢明な人々が、雇用者、伴侶、友人の全体像を評価する時に最初に観察するのがその人の人格である場合が多いでしょう。ですから、人格教育が、子どもたちに与える最も大切な科目だと言えます。14人の子どもたちをホームスクーリングした母親であるマリリン・ボイヤーが、この最も大切な科目をどのように意識し、教えてきたかを分かち合います。

●「未就学児もホームスクーリングするのか？」

未就学児をいったいどう扱ったらいいのでしょうか？マリリンが最も教えた年齢層は、活発で、好奇心旺盛で、興奮した、挑戦的なかわいい子どもたち、いわゆる未就学児です。マリリン曰く、この時期こそが、彼らを厄介者扱いするのではなく、私たちの愛を注ぎ、彼らのすべてを受け入れることによって偉大な基礎作りをする時です。

未就学児だからと言って、年上の兄弟たちの勉強中に「忙しくさせられる」小さな邪魔者ではないのです。子どもの人生におけるこの時期は、彼らが生まれつき持っている学習意欲を最大限に用いることによって、その子どもの大きな可能性を引き出す時であり、生涯にわたって大切な働きを

するために、神がその子どもに与えた準備期間であり、それを助ける時でもあります。あなたの幼い子どもたちを、家族というチームの価値ある一員として訓練する方法をマリリンが分かち合います。

●「子どもたちのせいで頭がおかしくなりそう！ イライラを勝利に変える」

あなたの子どもたちが立て続けに間違った行動をとるのに、だからといって、心底反抗したようには見えない日というのを体験したことがありますか？子どもならではのイライラさせる行動と本当に反抗して逆らっている態度の違いを、どのように見極めたらいいのでしょうか？苛立ちを問題解決に変えるための、健全で実践的、また実証された手法を紹介します。

●「なぜ高校までホームスクーリングしたことを嬉しく思うのか」

マリリン・ボイヤーは10代の子どもを育てる喜びと大変さを、たくさん体験しました。13人の息子娘たちが、高校過程までのホームスクーリングを終えた今、幼稚園から高校過程までのすべてをなぜホームスクーリングしたのか、なぜ、他の方法を考えなかったのか、ティーンへの指導に、どういった点が大切か、体験と学習を通して、教えられたことを分かち合います。

●「自己中心という巨人を倒す」

イエスは、私たちの中で最も偉大な者は、仕える心を持った人であると教えられました。私たちの子どもたちは「自分中心」の文化の中で育っており、その中で、教育、娯楽、広告、ピア・プレッシャー（同世代と同じ規範・行動を求める、同世代からの圧力）らのすべてが混ざって、自己中心の生活を助長しています。家庭における賢い訓練によって、よりよい道を選択するようにと子どもたちに教えることができます。他人を優先することによって、自己中心的な生活を超えた、より優れた生き方を子どもたちにさせるための「仕えるライフスタイル」を家族のために設計する方法を分かち合います。

リック・ボイヤー抄録

基調講演

「子どもたちが自立する前に教えておくべき 20 のこと」

学術的な学びは大切なことです。しかしそれが人生に成功する鍵とは限りません。子どもたちが成長し自立する時、彼らがこれからの時間、そして永遠に向かっての歩みを確かなものとするライフレッスンを受けたという状態で送り出すことを望むことでしょう。この分科会では、一緒にいる限られた時間の中で、子どもたちがどうやってこれから人生に起こる問題を通り抜けることができるようにするかをお話ししたいと思います。

分科会

●「ネット・ライン・ゲーム依存からの解放 - 争わずにメディアタイムを減らすには」

この何十年間で、親たちはテレビを見すぎることの害について知ってきたことでしょう。そしてさらにインターネットが入り、その危険性はさらに上昇しました。どのように、ネット・ライン・ゲーム依存から、現実の冒険的な生活に、あなたやあなたの家族の軸を変えることができるでしょうか？ここに力強い聖書的な解決策と、それを適用するたくさんの実用的な方法があります。

●「愚痴、反抗、叫び、不平 - 言葉を制御するために」

家庭の中で、言葉の毒矢が降り注いであなたをイライラさせていないでしょうか？ “子どもたちよ、ただ静かにして！” そう叫びたくなったことはありませんか？もしそうなら、あなただけじゃありません。しかしこの問題は言葉以上に深い問題です。本当の問題は子どもたちの心にあるのです。そしてそこに解決もあるのです。ぜひ来て学んでください。

●「家族の問題を解決するための最も重要な鍵」

家族関係の中で、依存する愛や、よくない関係性など、有害な草が生える場合があります。それは見分けにくく、根絶するのが難しいものです。しかし、聖書は根本からこの危険な侵入者を根絶する確かな方法を与えてくれます。そうです。それにより調和を家庭で保つことができるのです！

●「社会性のワナー真の社会性を養うために」

ホームスクーラーたちは社会性の発達が遅れるのでは…というこの世の通念に、多くのホームスクーラーたちが不安を覚えることがあります。リック氏は聖書のことばや教育学的調査、何千、何万というホームスクーリング家族の経験から、この逆が真実であることをお伝えします。実社会に向けて子どもたちを準備するために、家庭においても、教会においても、コミュニティにおいても、子どもたちは実社会で、実践的に生きていく必要があります。年齢でクラス分けされるような学校社会には置かない下さい。この分科会では、「社会性はどうですか」という、ホームスクーラーたちが常に受けるチャレンジに、確信と真実をもってどのようにして対応していくか、お伝えします。

●「男の子が男になるために」

学校で「学習障害がある」というレッテルを張られる 80% の児童は男の子です。ですから、賢い親は、男の子が健全に育つためには、学校に閉じ込めることや、学校の退屈さや統制は避けるべきことであると理解しています。神が男の子の中に組み込まれた活気を理解し、それに協力するためのカギは、少年時代というものが、将来、家族を守る者、一家の大黒柱、リーダーとしての役割をするための準備期間であること、それは自然なこととして、また聖書的なこととして男性の肩にかかることだということを認識することにあります。

●「父親は何をするのか？」

ホームスクーリングをする家族の父親の役割については多くの誤解があります。「スクール時間」に家にいなければ、ホームスクーリングに関わっているとはいえないと思っている人もいれば、母

親がもっと子どもたちと時間を過ごせるように、家事を分担することが父親としての役割だと思っている人もいます。しかし、聖書は、神の人格を目指す家庭において父親には7つの働きがあると、それぞれの働きは、ホームスクーリングにおいて非常に実践的、かつ力強く適用できます。「父親は何をするのか？」という質問に対する回答を、リックが知恵とユーモアで提供します。

ジョイス・イノウエ抄録

基調講演

「子どもたちそれぞれのニーズに応えるために」

あなたが何人かをホームスクーリングしているとしても、たった一人だとしても、一番合った学び方を見つけ、教えていくことは、子どもたちの学びを楽しくさせ、達成感と成功感を与えます。どうすれば親はすぐそれぞれに適した学び方を発見することができるでしょうか。どうやってホームスクールの教材を用いつつ学び方を教えることができるでしょうか？ホームスクーリングという環境で、それぞれの必要にどうやって応えていけるでしょうか。

分科会

「子どもたちの賜物、長所と短所認識への一般テストの誤り&勧めたい親の観察方法」

子どもたちの能力を正しく知るために、ぜひこのセミナーに来てください。長年にわたり、一般テストには多くの間違いと不正確さがあることを体験してきました。なぜ一般テストと言われるものが間違っているのか、お話ししたいと思います。多くの時間やお金を使うことなく、学習障害に正しく気付くために、子どもに対しての観察方法を親の皆様が訓練します。

「子どもたちを祝福する方法」

過去5年間、チアの皆さんに言葉の力について分かち合ってきました。聖書には、人の口から出る言葉は、生かすものでもあり、殺すものでもあるということが書かれています。多くの家族が「子

どもたちを祝福する祈り”を行い、家族が変えられた劇的な変化を証しています。もしあなたがあなたの心を子どもたちに向け直すならば、子どもたちの心もあなたに戻ってくる（マラキ4:6）。もしあなたがあなたの言葉を変えるならば、彼らは時にかない、恵みで満ち、あなたの徳を高めるような存在になるのです。子どもたちを傷つけるのではなく、祝福することを選び、ぜひこのセミナーに来てください。

「子どもたちへの祝福に推進力を与えるために」

私たちは言葉の力を知り、どのようにして子どもを祝福するか学んできました。しかし私たちが忙しい時、疲れ果てている時、怒りがこみあげてくるような状況の時はどうでしょうか。一日がとてつもなく忙しく、短く、そして子どもがたくさんいる状況の中で、どのように子どもたちを祝福し続けることができるでしょうか。これが可能であり、なぜこれが他のどんなレッスンよりも重要であるかを分かち合います。

「子どもたちが学習障害と思った時の十の戒め」

このセミナーで、あなたの子どもたちへの見方が変えられるでしょう。命を与え、人生を変えるようなものとなるでしょう。あなたがどのように子どもたちを見るかは、子どもたちとの関係や子どもたちの自尊心に大いに影響を及ぼします。

「ChildDの質疑応答タイム」

学習、ふるまい、障害、独特な問題、あらゆる分野での質問を持ってぜひ集まってください。その全ての時間を使って質問に答えていきます。質問箱を事前に設置する予定ですのでご利用ください。

分科会 各講師 抄録

■「GrapeSEED & ホームスクールならなれます、バイリンガル！」 伊澤 聡一郎& 恵美

7年前、HS開始と同時に GrapeSEED を始めたわが家。最初の数年は何度も挫折しかけてましたが、